3次元眼底像撮影装置

DRI OCT Triton

TOPCON Healthcare

SEEING EYE HEALTH DIFFERENTLY

See. Discover. Explore.

Welcome to the New Frontier in OCT Imaging

DRI OCT Triton series

Swept Source OCT with Multimodal Fundus Imaging

硝子体から脈絡膜まで鮮明に描写

- 100,000 A-scans / 秒 の高速スキャンを有し、短時間で網膜断層像撮影が可能
- 白内障や硝子体混濁のある疾患眼に対しても明瞭な OCT 像を描写 [*1] [*2]

診断に必要な様々な撮影機能を 1 台に集約

- Swept Source OCT による OCT Angiography 撮影 [*3] が可能
- Swept Source OCT、前眼部 OCT [*4]、カラー、Red Free、FA、FAF の撮影機能を 1 台に集約し [*5] 診断に必要な様々な画像を 1 台の器械で取得できることで、総合的かつ効率的なワークフローを実現
- 高画質、高精細な OCT 像と眼底像を同時取得

効率的で質の高い診断をサポート

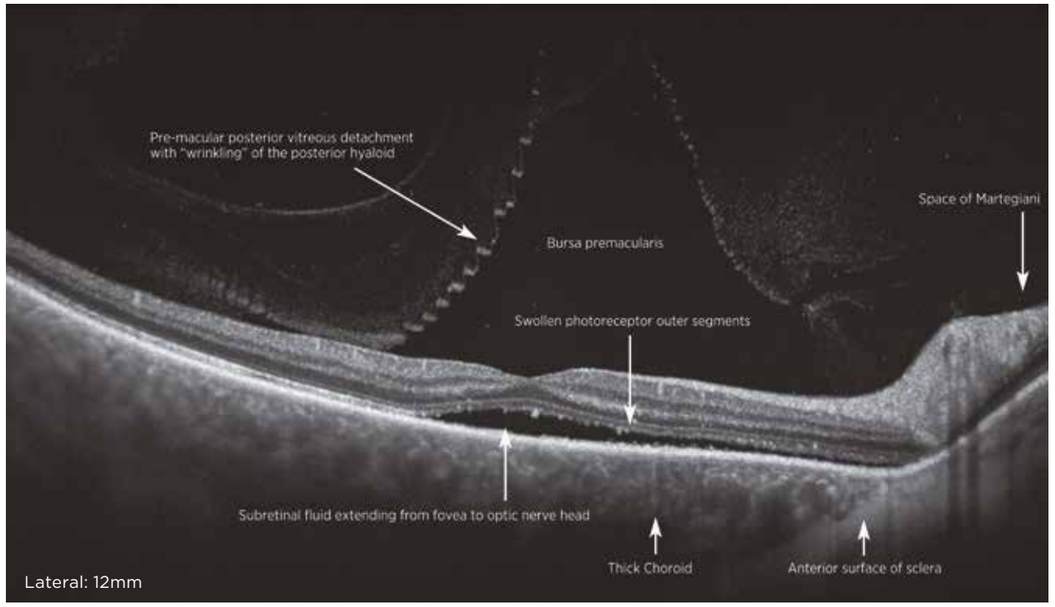
- トプコン独自の「SMARTTrack™」- スマートトラッキングシステム - を搭載。
- フォローアップ撮影、セグメンテーションなど多彩な解析機能を備え、診断に有用な情報を提供
- EnView 機能搭載。3 次元 OCT 画像から En-face 画像を再構築することで各レイヤーごとの病変の横方向の広がりを観察可能
- 健常眼データベースを搭載。黄斑疾患や緑内障 [*6] に対し Swept Source OCT で得られた情報を定量的に分析

ユーザーフレンドリー

- タッチパネルを搭載。分かりやすい GUI によりシンプルかつ直感的な操作性を実現
- スキャンプロトコル選択画面はユーザーごとにカスタマイズ可能
- ひと目で分かりやすいレポート
- 多機能 & コンパクトボディ [*7] により施設に応じた運用と設置が可能

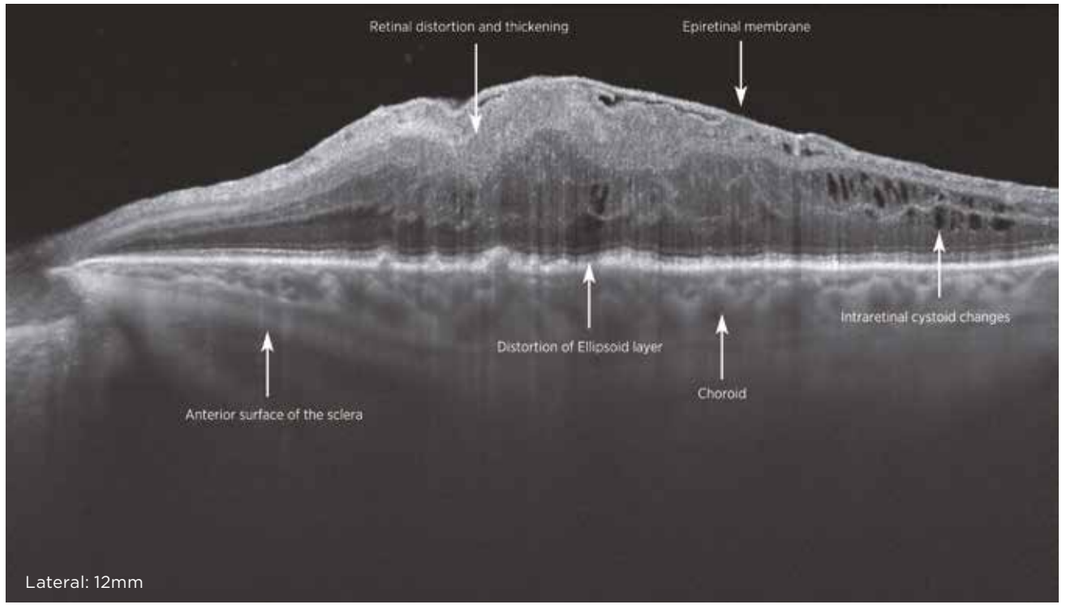
*1　宗田 友美 [1], 中島 安由美 [1], 小島　慶子 [1], 小柳 俊人 [1,2], 疋田 伸一 [1,2], 末廣 久美子 [1,2], 久冨 智朗 [1,2]
　1 国立病院機構九州医療センター眼科　2 九州大学大学院医学研究院眼科学分野
「Swept-source OCT（DRI OCT Triton®）と spectral-domain OCT（3D　OCT1000®）の比較」,「臨床眼科 70 巻 10 号」
*2　被検眼による
*3　OCT Angiography ソフトウェアは別売オプションです。また OCT Angiography 画像を閲覧、解析するためには IMAGEnet 6 との組み合わせが必要です。
*4　前眼部撮影には前眼部アタッチメントが必要です（別売付属品）
*5　FA、FAF 撮影機能は DRI OCT Triton plus のみ
*6　適用の一例です。
*7　当社従来機比

Central Serous Retinopathy



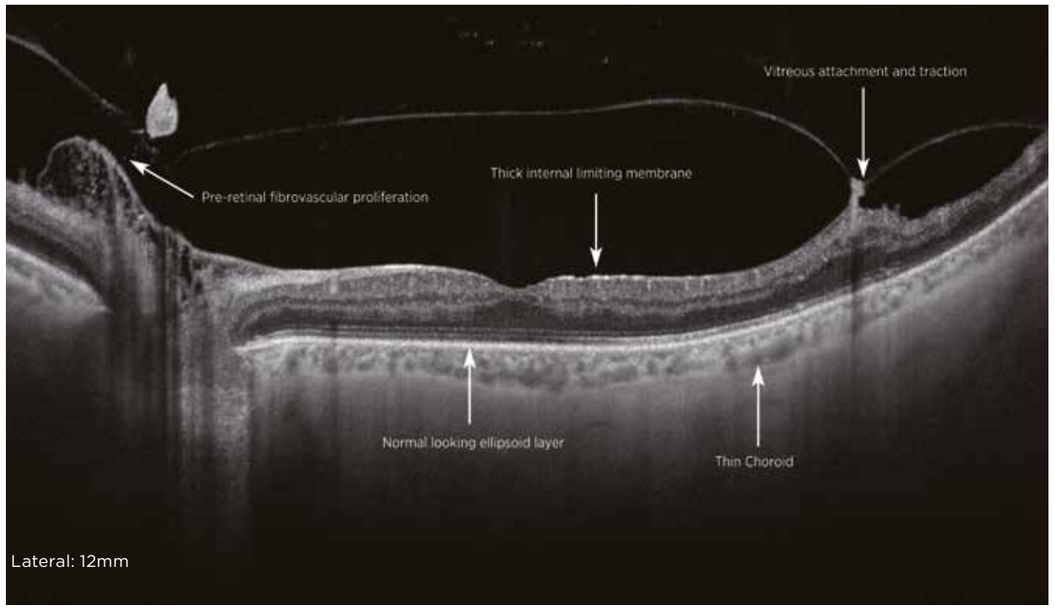
画像のご提供：Prof. P. E. Stanga, Manchester Royal Eye Hospital, Manchester Vision Regeneration (MVR) Lab at N IHR/ Welcome Trust Manchester CRF & University of Manchester

Macular Pucker



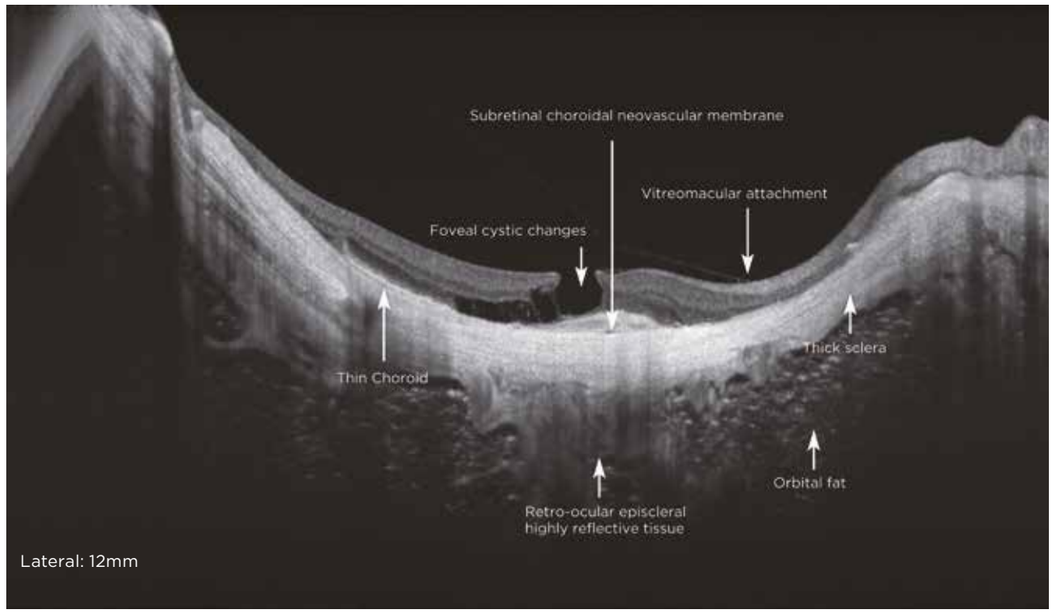
画像のご提供：Prof. P. E. Stanga, Manchester Royal Eye Hospital, Manchester Vision Regeneration (MVR) Lab at N IHR/ Welcome Trust Manchester CRF & University of Manchester

Proliferative Diabetic Retinopathy



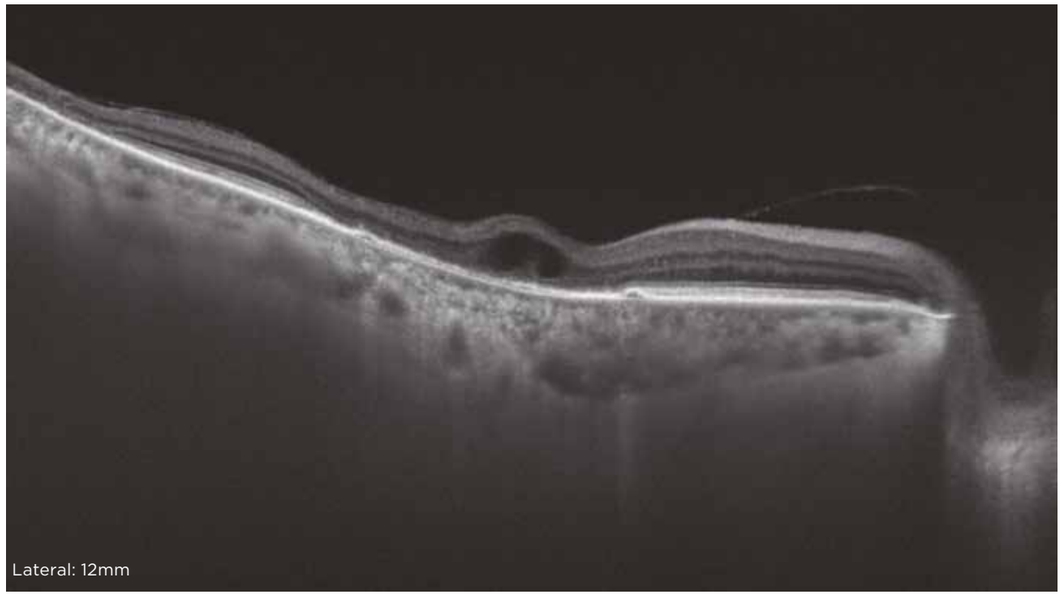
画像のご提供：Prof. P. E. Stanga, Manchester Royal Eye Hospital, Manchester Vision Regeneration (MVR) Lab at N IHR/ Welcome Trust Manchester CRF & University of Manchester

Pathologic Myopia



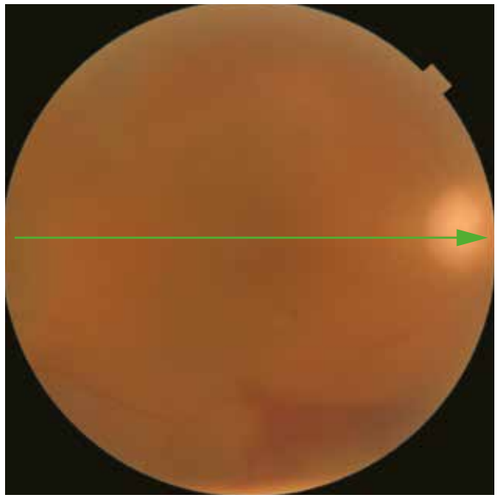
画像のご提供：Prof. P. E. Stanga, Manchester Royal Eye Hospital, Manchester Vision Regeneration (MVR) Lab at N IHR/ Welcome Trust Manchester CRF & University of Manchester

Cataract



a)

b)



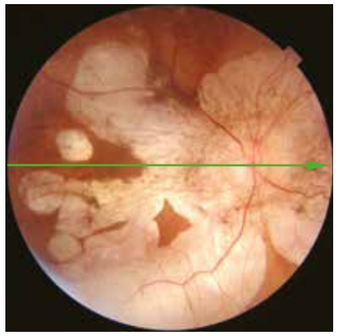
c)

a),b),c) 画像のご提供：山岸和矢先生（ひらかた山岸眼科クリニック）

High Myopia

d)

d), e) 画像のご提供：山岸和矢先生（ひらかた山岸眼科クリニック）



e)

See, Discover, Explore

SWEPT SOURCE OCT WITH MULTIMODAL FUNDUS IMAGING

次世代のテクノロジー：SWEPT SOURCE OCT /1,050nm

硝子体から脈絡膜まで鮮明に描写

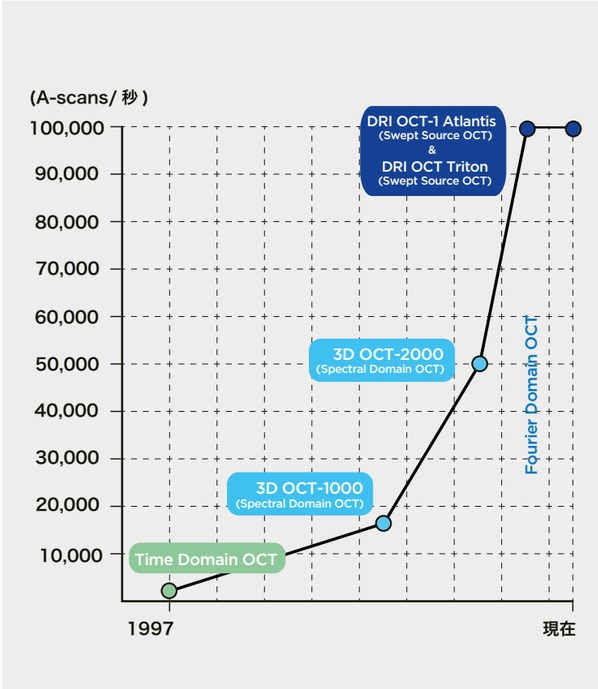
DRI OCT Triton は Swept Source 光源を採用しています。中心波長 1,050nm の波長掃引レーザーを用いることで、従来のスペクトラルドメイン OCT の光源よりも高い組織侵達性を有しています。これらの特徴により、深さ方向に対する画像の感度劣化が少なく、1 回の撮影で網膜から脈絡膜まで、高精細かつ鮮明に描写することが可能です。さらに同光源は、白内障や硝子体混濁による散乱の影響も軽減できるため、それらの疾患を有する場合でも SD OCT に比べ鮮明な眼底断層像を撮影することができます。[*1]

高速 100,000 A-scans/ 秒

DRI OCT Triton はスキャンスピード 100,000 A-scans/ 秒を実現しています（当社従来機比約 2 倍）。これにより、眼球運動の影響が軽減され、高品質な画像を取得できます。

OCT の系譜

2006 年にトプコンは世界に先駆けてスペクトラルドメイン OCT の発売を開始しました。3D OCT-1000 の眼科医療機関への影響は大きく、タイムドメイン OCT と比較してスキャン性能と分解能が飛躍的に向上し、診療の発展に大きく貢献しました。2012 年には、Swept Source 光源を採用した DRI OCT-1 Atlantis を世界に先駆けて上市しました。



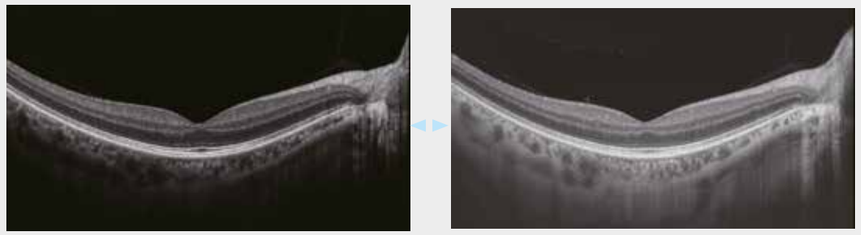
*1　宗田 友美 [1], 中島 安由美 [1], 小島　慶子 [1], 小柳 俊人 [1,2], 正田 伸一 [1,2], 末廣 久美子 [1,2], 久冨 智朗 [1,2]
1 国立病院機構九州医療センター眼科　2 九州大学大学院医学研究院眼科学分野
「Swept-source OCT（DRI OCT Triton®）と spectral-domain OCT（3D　OCT1000®）の比較」,「臨床眼科 70 巻 10 号」

Swept Source OCT と Spectral Domain OCT の比較

	DRI OCT Triton	3D OCT-1 Maestro
撮影方式	Swept source	Spectral-Domain
中心波長	1,050nm	840nm
スキャン速度	100,000 A-scan/秒	50,000 A-scan/秒
B スキャン撮影時間	約 0.01 秒約	0.02 秒
3D スキャン撮影時間	約 0.8 秒約	1.6 秒
最大重ね合せ枚数	最大 128 枚 (3D 撮影の場合：無)	最大 50 枚 (3D 撮影の場合：無)

* 撮影速度に関しては 1,024 A-scan を有する 1 断層画像、及び 512 A-scan × 128 本 のスキャンを行う際に費やす時間であり、実際の測定時間とは異なります。

» Spectral Domain OCT（50 枚重ね合わせ）　» Swept Source OCT（64 枚重ね合わせ）



SD OCT に対して深さ方向の感度の劣化が少なく、全ての深さ位置で均一な画質で描写できます [*2]。

* DRI OCT Triton では、最大 128 枚までの重ね合わせが可能です。

不可視スキャン

光源に使用される 1,050nm の光は人間の眼には感知できない波長域で、これにより被検者は固定灯に集中できます。被検者の固視が安定する事で検査時間が短縮でき、効率的な撮影が可能です。[*1*3]

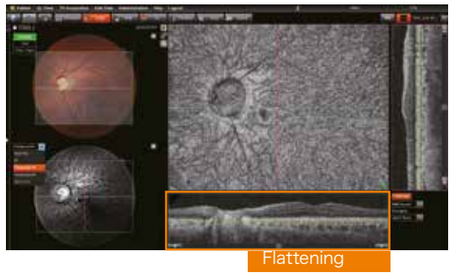
*2 Fabio Lavinsky & Daniel Lavinsky, perspectives on swept-source optical coherence tomography, International Journal of Retina and Vitreous, Article 25(2016)
*3 被検者によっては、一部のスキャンプロトコルにおいてスキャンラインが見える事があります。

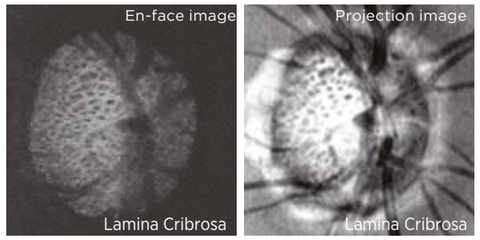
En-face画像

高精細な各層のEn-face画像を観察できます。網膜神経線維層のEn-face画像や脈絡膜の血管の様子を非侵襲に観察することができます。篩状板も高精細な画像で観察できます。

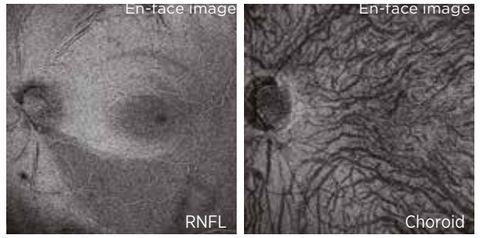
Flattening

Flattening機能によって、網膜内の組織構造に沿った水平断面を抽出し、高解像度のEn-face画像を表示します。





画像のご提供：中澤 徹 先生（東北大学）



画像のご提供：中澤 徹 先生（東北大学）

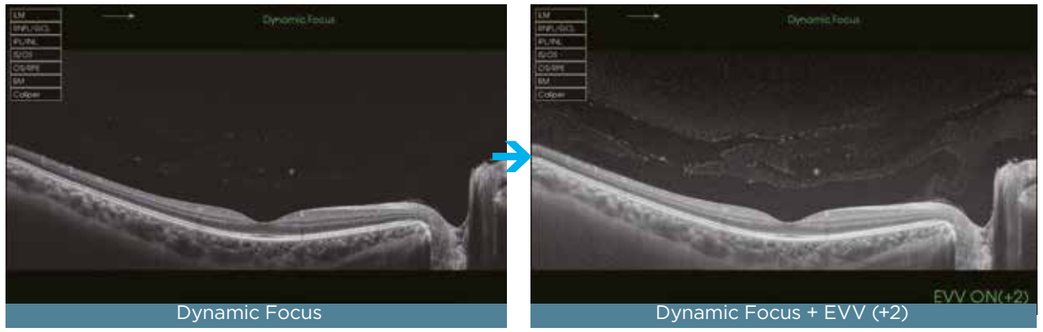
高度なエンハンス技術

EVV (Enhanced Vitreous Visualization™)

撮影後のB-scan像に対する画像エンハンス機能を搭載しています。調整は10段階で設定が可能です。これにより、硝子体などがさらに可視化され、観察しやすくなります。

Dynamic Focus™

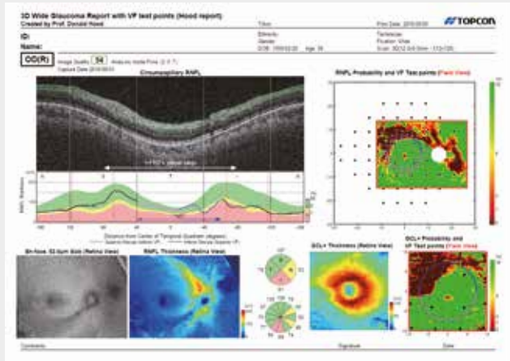
Dynamic Focusでスキャンすることで、全ての領域で平均的に焦点が合わせられ、その結果通常のスキャンに比べ、硝子体から脈絡膜まで全ての領域においてさらに鮮明な画像を得る事が可能です。EVVと併用する事で、通常のスキャンでは可視化されづらい硝子体などが、さらに視認しやすくなります。



Dynamic Focus　　Dynamic Focus + EVV (+2)

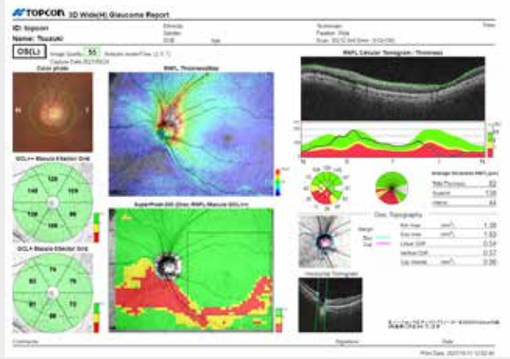
診断をサポートするトプコン独自のスキャンプロトコル

ニーズに合わせた最適なスキャンプロトコルを用意しています。DRI OCT Triton では健常眼データベースを搭載しており、SS OCT で取得したデータを解析し、健常眼データとの差異が色分け表示され、視覚的に差異を判別しやすくなります。*1 また、12 mm x 9mm ワイドスキャンでは豊富なレポートを用意。診断に必要な情報が 1 枚のレポートとしてまとめられ、黄斑疾患、緑内障などの診断や治療方針の決定・判断をサポートします。



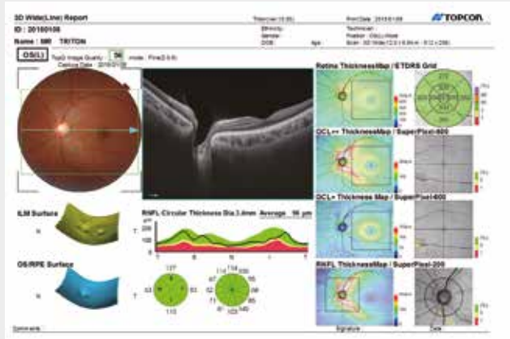
Hood レポート

コロンビア大学 Dr. Donald Hood の監修を受けた、トプコン独自のレポートです。視神経乳頭部の形状解析結果、Enface、RNFL や GCL ＋の Thickness Map に加え、視野計 (24-2,10-2) の検査点と RNFL 層の相関などをレポートに表示します。*IMAGEnet 6 Ver.1.16 以降



3D Wide Glaucoma レポート

12mm x 9mm の 3D スキャン撮影により得られる解析結果をまとめて表示するレポートです。 眼底撮影画像、視神経乳頭部の形状解析結果、RNFL や GCL(GCL+,GCL++) の Thickness map や Significance map、健常眼との比較結果などをレポートに表示します。



コンビネーションレポート

3D ワイド スキャン (12mm × 9mm) と ライン / 5 ラインクロス / ラジアルスキャンを同時に行う便利なスキャンパターンを新たに搭載しました。 コンビネーションスキャンで撮影することにより、3D データから網膜内の Thickness マップと、設定された位置の重ね合わせした高精細 B スキャン画像を一度のスキャンで取得できます。

*1 横山 悠 (1)、面高宗子 (1)、中澤　徹 (1)「 緑内障診療における OCT の活用」,「オクリスタ ,2013 年 5 月号 No2」(1) 東北大学大学院医学系研究科

SS OCT Angio™

Introducing SS OCT Angio™ with OCTARA™

SUPERIOR **VISUALIZATION**

Swept Source OCT による OCT Angiography[*1]

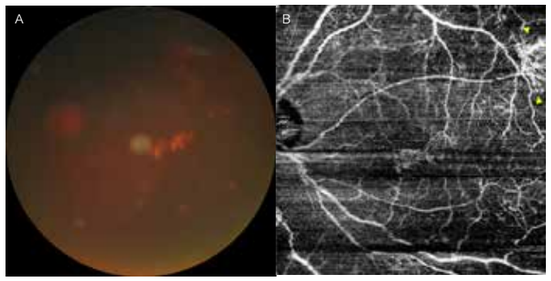
SS OCT Angio™ は、トプコンが提供する Swept Source OCT による高画質 OCT Angiography システムです。
DRI OCT Triton シリーズにトプコン独自のアルゴリズム OCT Angiography Ratio Analysis = OCTARA™ を搭載したことで、脈絡膜レベルの血流まで高感度、高侵達に画像化します [*2]。 トプコン独自のアルゴリズム OCTARA は、同じ断面で撮影された複数の OCT 画像から血管内の血流の様子を画像化する技術です。弱い信号変化でも高感度で画像化できるため、毛細血管レベルの異常や毛細血管瘤の観察など臨床に活用されています [*2]。

高侵達・広範囲・高解像度 [*3*4]

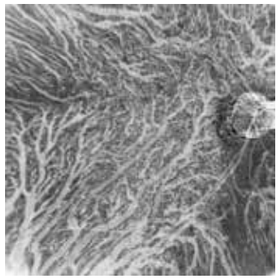
白内障や出血などがある場合も散乱や混濁の影響を受けにくく [*3]、明瞭に画像を描写できます [*4]。
最大 12x12 mm の広範囲かつ高解像度 (512 x 512) の OCTA 撮影が可能です。
一度のスキャンで黄斑部から乳頭部まで、より多くの情報を得ることができます。

サンプル画像 1

OCTA 撮影が糖尿病網膜症診断に有用だった症例 [*4]



Choroidal Vasculography
脈絡膜の En-face 画像

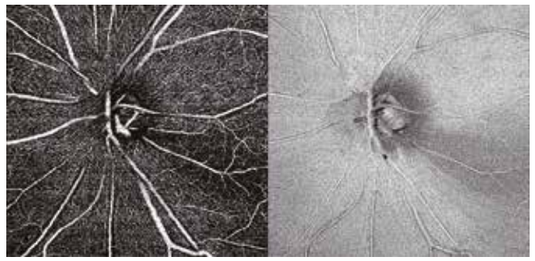


A:　カラー眼底写真では滲出性変化を捉えているものの、中間透光体の混濁と虹彩癒着による散瞳不良により、眼底を透見することが困難であった。
B:　9x9mm(Triton) ではアーチファクトはあるものの , 新生血管が明瞭捉えられた (矢頭)

*1 OCT Angiography 撮影機能は別売オプションです。
*2 Charles Reisman, MS; Atsushi Kubota, MS; Masahiro Akiba, PhD; Catharine Chisholm, PhD; and Michael J. Sinai, PhD "Optical Coherence Tomography Angiography Imaging With Topcon' s One-Micrometer Wavelength Swept Source Optical Coherence Tomography" Optical Coherence Tomography Angiography of the Eye (pp 71-80).
*3 宗田 友美 [1], 中島 安由美 [1], 小島　慶子 [1], 小柳 俊人 [1,2], 疋田 伸一 [1,2], 末廣 久美子 [1,2], 久冨 智朗 [1,2] 1 国立病院機構九州医療センター眼科　2 九州大学大学院医学研究院眼科学分野
「Swept-source OCT（DRI OCT Triton®）と spectral-domain OCT（3D　OCT1000®）の比較」,「臨床眼科 70 巻 10 号」
*4 文献：間瀬 智子　石羽澤 明弘：糖尿病網膜症の読影すご技マニュアル、眼科グラフィック Vol.7, No.3 2018 321 ページ 図 11 A,B
*5 画像のご提供：石羽澤 明弘先生（旭川医科大学)

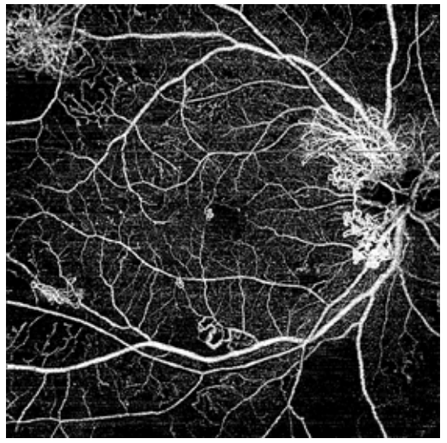
SWEPT SOURCE OCT ANGIOGRAPHY

サンプル画像 2

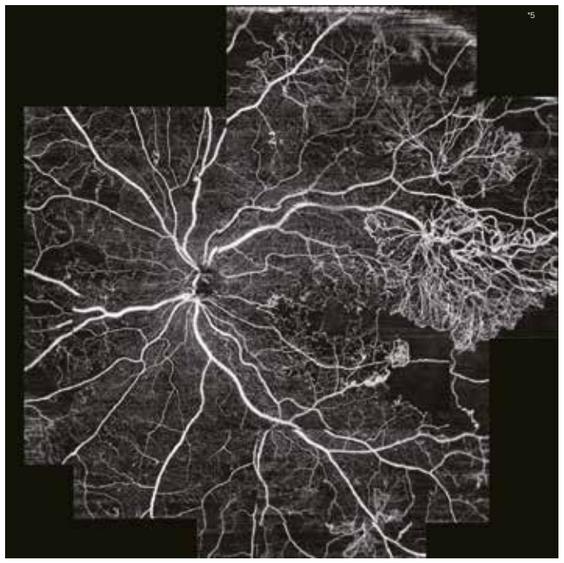


画像のご提供 : 山岸和矢先生（ひらかた山岸眼科クリニック）

最大 12x12mm、解像度 (512x512) で撮影可能。
眼底写真の画角 45°に相当する範囲を撮影 [*5]

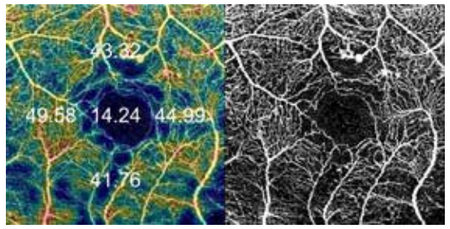


サンプル画像 3

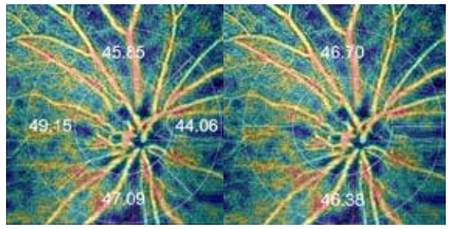


Density Map[*1]

黄斑部や放射状乳頭周囲毛細血管（RPC）の Density Map を表示できます。
SS OCT Angio 画像における輝度値平均のカラー表示と、ETDRS サークル内の輝度値を数値 (%) で表示します。

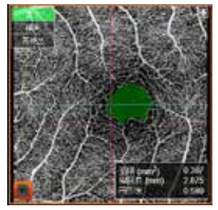


画像のご提供：石羽澤　明弘先生　（旭川医科大学）



FAZ 解析

中心窩無灌流領域を抽出・カラー表示し、
面積・周長・円形度の解析結果をパラメーターで表示します。

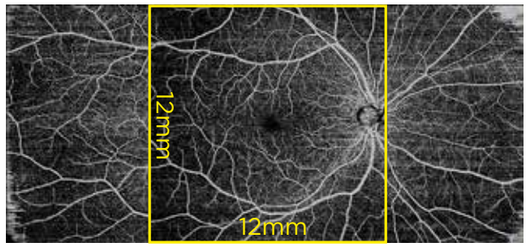


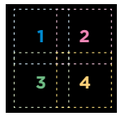
広角パノラマ撮影

黄斑部、視神経乳頭中心の撮影に加えて、眼底周辺部位を撮影できます。中心部と周辺部を含めて最大７点の固視標を用いた撮影が可能で、撮影された各画像を自動で重ね合わせて、パノラマ画像を生成、表示します。最大横幅 25 ㎜ のパノラマ画像が撮影可能です *。

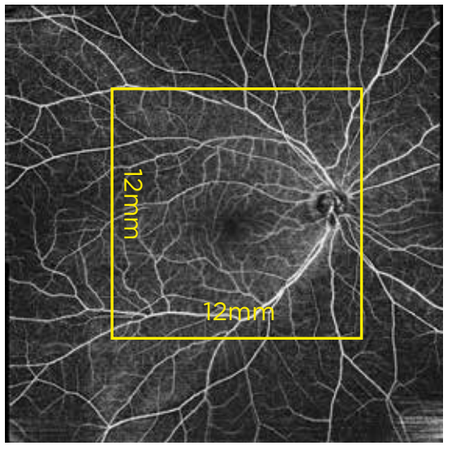
* 当社計算による理論値です。

３枚重ね合わせ　パノラマ画像





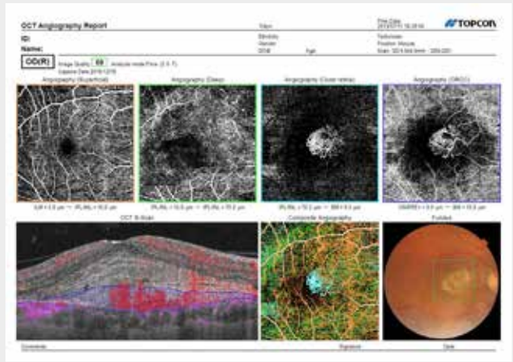
４枚重ね合わせ　パノラマ画像



*1 Density Map 表示 は 3mm x 3mm、4.5mm x 4.5mm、6mm x 6mm のスキャン画像で可能です。
3x3mm, 4.5x4.5mm, 6x6mm スキャン時に Superficial のみ数値 (%) 表示が可能です。
無灌流領域

レポート

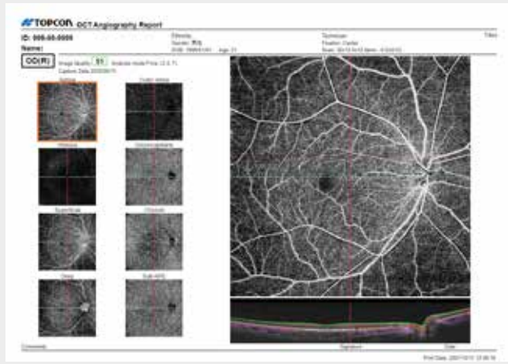
眼底写真、B-scan 画像、各層の OCT Angiography、En-face 画像をレポートで表示します。



標準レポート

OCT Angiography 画像を Superficial, Deep, Outer retina, Choriocapillaris の 4 層に分け表示します。 また、B-scan 像、En-face 画像、カラーコンポジット画像、カラー眼底画像を 1 枚のレポートで表示します。カラー眼底画像には OCT Angiography 画像をオーバーレイ表示することもできます。

Angio/En-face レポート



Wide レポート

Angio/En-face、Wide レポート

任意の OCT Angiography 画像と En-face 画像を拡大表示でき、Wide レポートでは OCT Angiography 画像をさらに拡大した状態で表示でき、血管領域と形態の確認が容易です。更に、下記の 8 層をレポートに表示します。

固視が Macula の場合：
Retina, Vitreous, Superficial, Deep, Outer retina, Choriocapillaris, Choroid, Sub-RPE

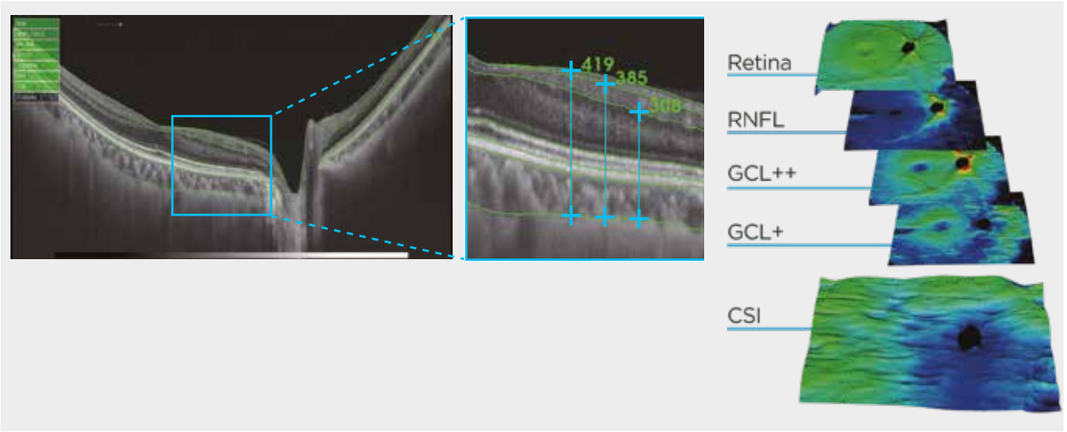
固視が Disc の場合：
Retina, Vitreous, Superficial, Deep, Outer retina, Choriocapillaris, Optic Disc, RPC

多角的アプローチ

7 境界セグメンテーション / 5 層 Thickness マップ表示 / キャリパー計測機能

DRI OCT Triton では OCT 断層像の 7 境界のセグメンテーション、5 層 Thickness マップ表示が可能です。Thickness マップでは病変部の範囲や進行の程度を客観的に把握できます。またキャリパー計測機能により、任意の断層の厚みを計測でき、薬剤やレーザ治療後の厚み変化を把握できます。

Retina	ILM ~ OS/RPE
RNFL	ILM ~ RNFL/GCL
GCL+	RNFL/GCL ~ IPL/INL
GCL++	ILM ~ IPL/INL
CSI	BM ~ CSI / ILM ~ CSI



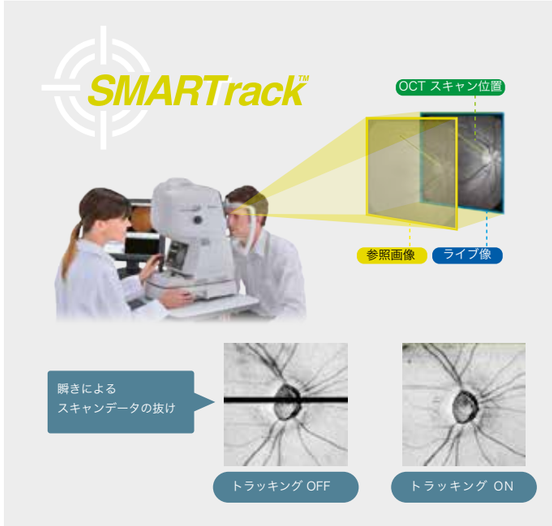
See, Discover, Explore

SWEPT SOURCE OCT WITH MULTIMODAL FUNDUS IMAGING

狙った位置を精確にスキャン スマートトラック

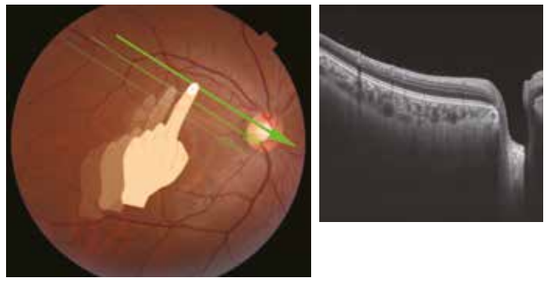
トプコン独自の「SMARTTrack ™」- スマートトラッキングシステム - により、撮影中に被検眼が一定範囲動いても自動追尾し、指定位置を撮影します。
また、3D OCT スキャン、OCT Angiography 撮影時には瞬きによるデータの抜けを再スキャンで補完します。

> 眼底ガイド撮影
> フォローアップ撮影
> トラッキング撮影



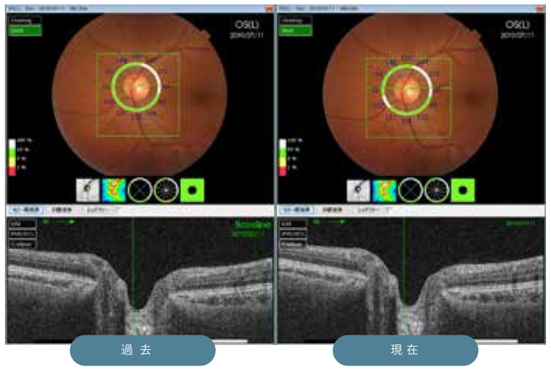
眼底画像上での OCT スキャン位置指定 - 眼底ガイド撮影 -

撮影された高精細なカラー眼底画像上で、観察したい OCT 像の部位を指定して撮影できます。



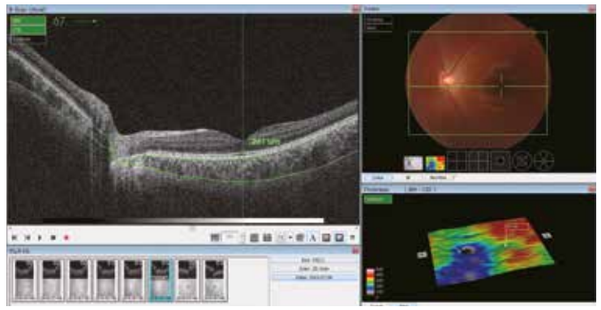
フォローアップ撮影

SMARTTrack™ により、前回撮影した OCT 像と同じ位置を精確に撮影することができます。 経過観察において、2 つの異なる計測データを同時に表示でき、過去と現在の同じ位置の OCT 像を比較・観察できます。

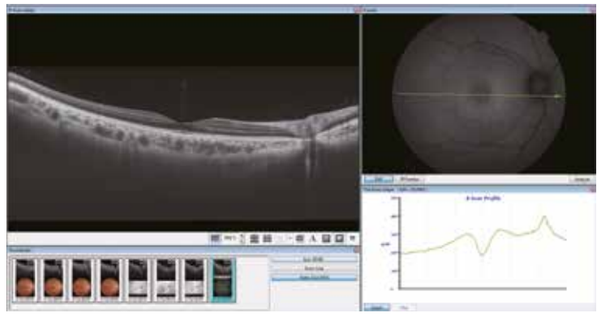


Swept Source OCT と眼底カメラの融合

DRI OCT Triton は Swept Source OCT と眼底カメラが融合した多機能複合機です。診断に必要な様々な画像データを 1 台で取得できます。



OCT + カラー眼底像

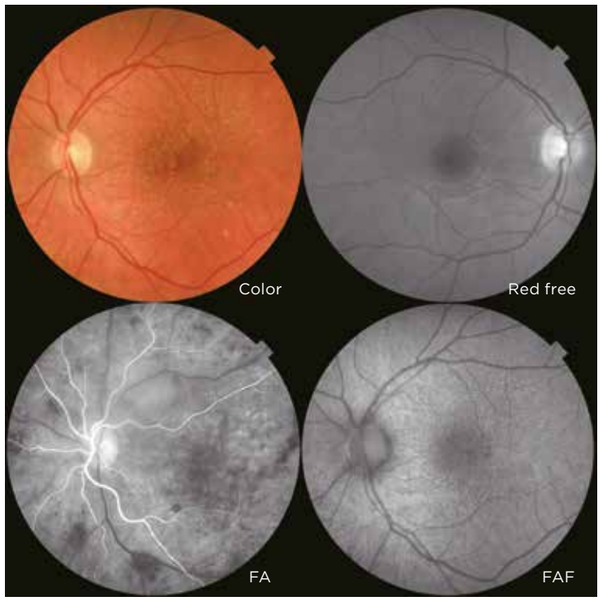


OCT + FAF

多彩な眼底撮影機能と高画質でクリアな眼底像

DRI OCT Triton は、OCT 画像に加えてカラー眼底画像、FAF 、FA 画像も取得可能です *。眼底の色調、乳頭形状、血管走行、網膜などを明瞭な画像で観察することができます。

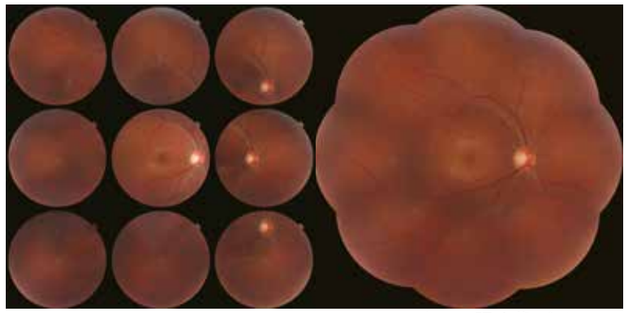
*FAF、FA 撮影は DRI OCT Triton plus のみ可能です。



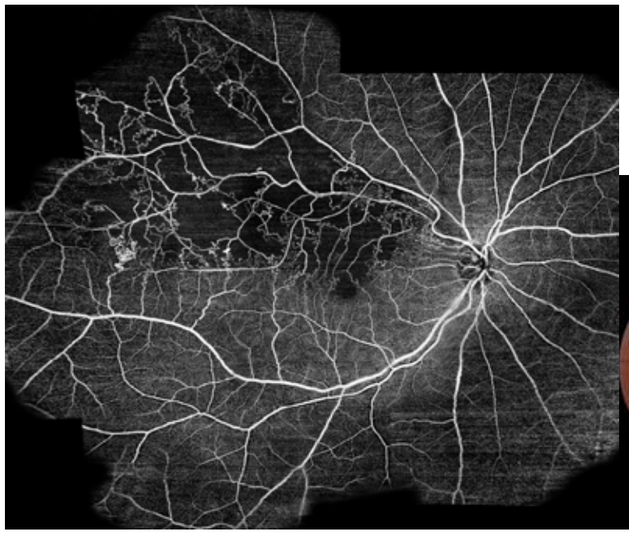
パノラマ撮影

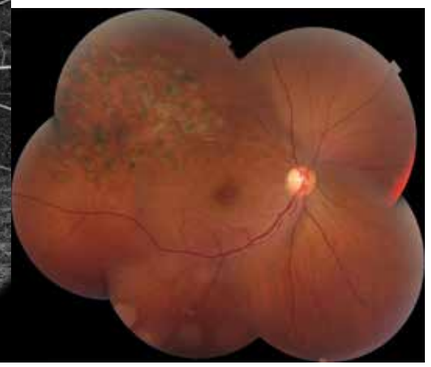
黄斑部や視神経乳頭中心だけでなく、眼底周辺部位を撮影することが可能です。 撮影された画像を重ね合わせて、パノラマ画像を生成して表示します。4 点、もしくは 8 点の周辺固視灯が点灯可能です。OCT Angiography 撮影においても周辺部位を撮影することができ、撮影画像を重ね合わせてパノラマ画像を生成できます。

* OCT Angiography 撮影機能は別売オプションです。



カラー眼底像パノラマ





OCTA Mosaic 画像のご提供：小椋 祐一郎 先生 (名古屋市立大学)

多彩な撮影サポート機能

補正・補完機能
- モーション補正 / 歪み補正 / 補完スキャン -

モーション補正

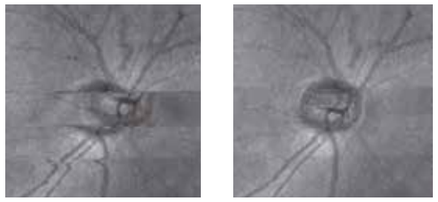
固視微動により生じた深さ方向のズレを補正

歪み補正

眼球の動きを追尾しながらスキャンを行い、水平方向のズレを補正

補完スキャン

垂直方向（ 眼底断層像の抜け）を検知し、自動的に再スキャン、
再スキャンした有効なスキャン画像を採用し画像を補完



補正前　補正後

かんたん操作
- アライメントガイダンス機能 -

画面に表示されるガイダンスに従い操作を行うだけで、簡単に撮影ができます。　また撮影の手間を軽減するため、多彩なオート機能を搭載し、効率的な撮影をサポートします。

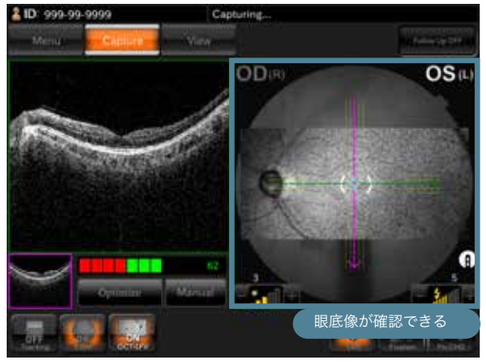
前へ　OK　後ろへ

小瞳孔 & 明室対応

Live Fundus View

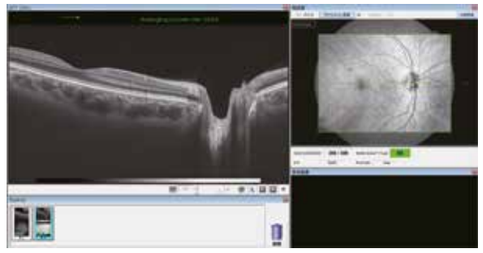
OCT 像から生成される OCT-LFV 像を表示することで、小瞳孔などの場合でも常に眼底像を確認でき、乳頭、血管、スキャン位置などを把握することができます。

小瞳孔で眼底像が見えにくい
被検眼でも



プロジェクション画像

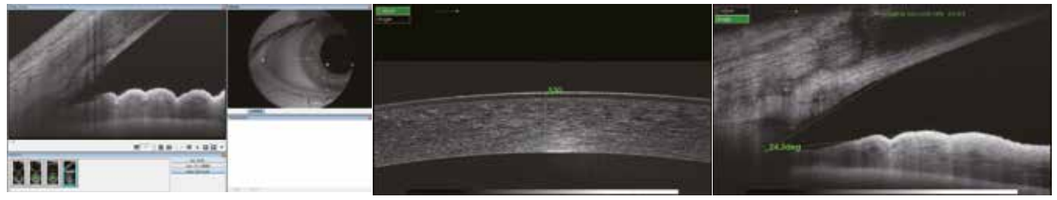
DRI OCT Triton では、カラー眼底像を撮影しない OCT のみの撮影の場合でも、プロジェクション画像によりスキャン部位を容易に確認することができます。
また、この撮影では フラッシュ発光しないため、患者さんの負担を軽減できます。



前眼部撮影機能

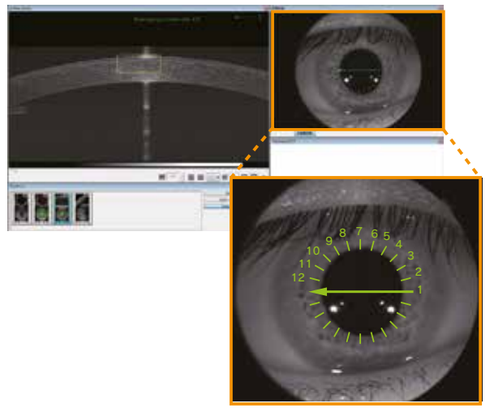
前眼部撮影

DRI OCT Triton では前眼部用アタッチメントキット AA-1(別売付属品) を取りつけることで前眼部撮影が可能です。
「キャリパー計測」、「隅角角度計測」が可能です。

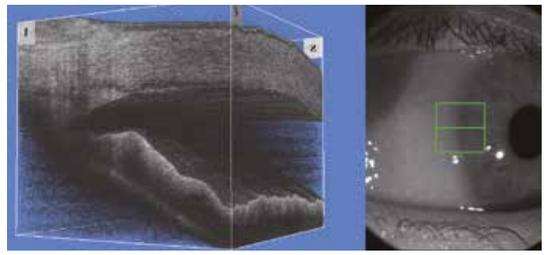


前眼部撮影サンプルイメージ

16mm ラインスキャン



前眼部ラジアルスキャン



前眼部 3D スキャン

取り付け簡単なアタッチメント

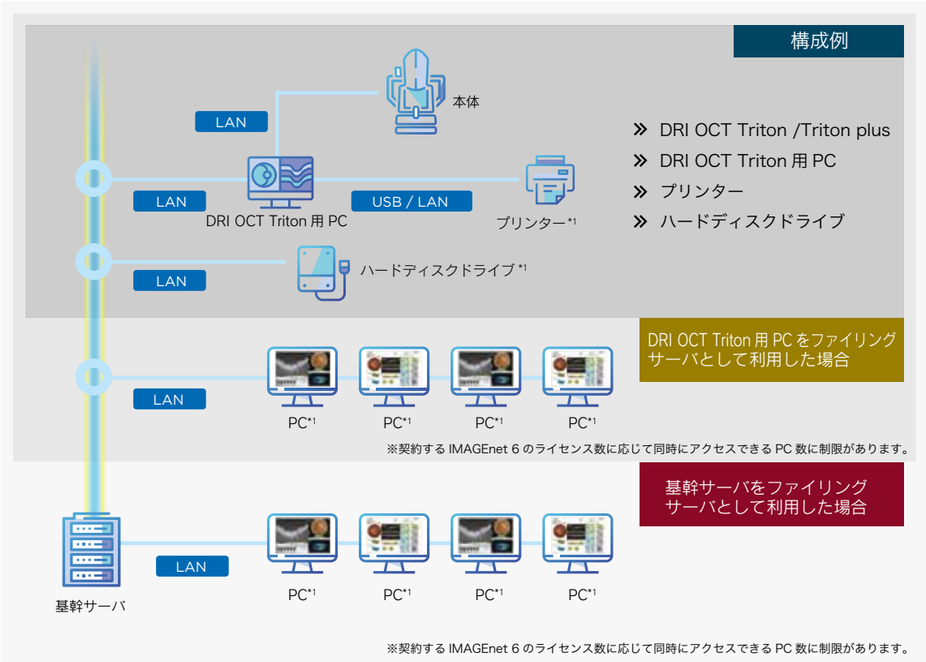
DRI OCT Triton の前眼部用アタッチメントキット
AA-1 は簡単に取り付ける事ができます。

1. 前眼部撮影アタッチメント
2. 額当て

ネットワーク & データマネージメント

ネットワークシステム

DRI OCT Triton は施設のニーズに合わせたネットワークシステムを用意しています。 トプコンの眼科データ管理システム IMAGEnet 6 を利用する事で、アクセス可能な複数の PC にて、いつでも取得したデータの解析・閲覧が可能です。



*1 プリンター、ハードディスクドライブ、PC は本品には含まれない市販品です。

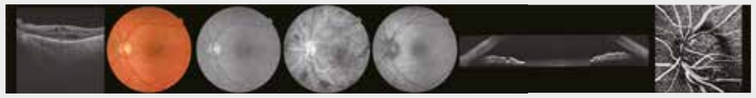
See, Discover, Explore

SWEPT SOURCE OCT WITH MULTIMODAL FUNDUS IMAGING

DRI OCT Triton series

ラインアップ

DRI OCT Triton PLUS



Swept Source OCT　カラー　Red Free　FA　FAF　前眼部OCT*1　OCT Angiograhy*2

DRI OCT Triton

Swept Source OCT　カラー　Red Free　前眼部OCT*1　OCT Angiograhy*2

*1　前眼部観察・撮影は、別売付属品の前眼部用アタッチメントが必要です
*2　OCT Angiography は IMAGEnet 6 との組み合わせにより撮影が可能です。また OCT Angiography ソフトウェアは別売オプションです。

仕様

眼底観察・撮影	撮影種類	カラー、FA*1、FAF*1、レッドフリー*2、IR
	撮影画角	45° 30°相当（デジタルズーム）
	作動距離	34.8mm
	撮影可能瞳孔径	通常時：φ4.0mm 以上 小瞳孔絞りON時：φ3.3mm以上
眼底断層像観察・撮影	スキャン範囲（眼底上）	縦方向 3〜12 mm　　横方向 3〜12 mm
	スキャンパターン	3Dスキャン 直線状スキャン（Line-scan／Cross-scan／Radial-scan） 円形状スキャン(Circle scan)
	スキャンスピード	100,000 A-Scans/ 秒
	横方向分解能	20μm
	深さ方向分解能	デジタル：2.6μm(複数回撮影時) 光学： 8μm
	撮影可能瞳孔径	φ2.5mm 以上
眼底観察・撮影 眼底断層像観察 撮影	固視標	内部固視標：ドットマトリクスタイプ有機EL 提示位置切換・調整、提示方法変更可能 周辺部固視標：内部固視標提示位置に連動し提示 外部固視標
	被検眼視度補正範囲	視度補正レンズなし：-13D 〜 +12D マイナス視度補正レンズ使用時*3）：-12D 〜 -33D プラス視度補正レンズ使用時*3）：+11D 〜 +40D
前眼部観察・撮影*4	撮影種類	IR
前眼部断層像観察・撮影*4	スキャン範囲（角膜上）	横方向3〜16mm、　縦方向3〜16mm
	スキャンパターン	3Dスキャン、　直線状スキャン（Line-scan／Radial-scan）
	スキャンスピード	100,000 A-Scans/ 秒
前眼部観察・撮影／前眼部断層像観察・撮影	作動距離	17mm
	固視標	内部固視標／外部固視標
電気的定格／寸法・質量	電源電圧	交流：100V
	周波数	50-60Hz
	電源入力	250VA
	寸法	320〜359 mm(W) × 523〜554 mm(D) × 560〜590 mm(H)
	質量 (本体)	21.8kg (DRI OCT Triton) 23.8kg (DRI OCT Triton plus)

*1：FA 、FAF は、DRI OCT Triton plus のみ可能
*2：デジタルレッドフリー
*3：マイナス視度補正レンズ使用時・プラス視度補正レンズ使用時、スプリットオートフォーカス及びスプリット輝線による手動フォーカスを用いることはできない
*4：前眼部観察・撮影は、別売付属品の前眼部用アタッチメントキットAA-1が必要

販売名：3次元眼底像撮影装置 DRI OCT Triton
医療機器認証番号：226AABZX00146000
販売名：3次元眼底像撮影装置 3D OCT-1
医療機器認証番号：224AABZX00151000
販売名：眼科データ管理システム IMAGEnet 6
医療機器認証番号：227AABZX00081000
「plus」は3次元眼底像撮影装置 DRI OCT Triton のカタログ記号です。
「Maestro2」は3次元眼底像撮影装置 3D OCT-1の愛称です。

※本紙中の「高画質」「高精細」「高感度」「高解像度」は当社従来機種と比較した場合です。
※画面はハメコミ合成です。
※カタログと実際の商品の色とは、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。
※カタログ掲載商品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

注 意　正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

EC97J1081
（株）トプコン本社

CLASS 1 LASER PRODUCT
(IEC60825-1:2007)
PRODUIT LASER DE CLASSE 1
(CEI60825-1:2007)

株式会社トプコンメディカルジャパン

本　　社	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)5915-1800	FAX.(03)5915-1805
ICT事業推進部	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)5915-1804	FAX.(03)5915-1805
カスタマーサポート部	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)5915-1621	FAX.(03)5915-1805
東京営業所	〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1	TEL.(03)6867-0123	FAX.(03)6867-0124
札幌営業所	〒064-0807 北海道札幌市中央区南7条西1-21-1第3弘安ビル6F	TEL.(011)520-2150	FAX.(011)520-2151
仙台営業所	〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-2　仙台MDビル1階	TEL.(022)722-0637	FAX.(022)722-0638
横浜営業所	〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央11-3ウェルネスセンタープラザ南ビル101号室	TEL.(045)949-3600	FAX.(045)949-3604
名古屋営業所	〒461-0005 名古屋市東区東桜2-9-1高岳セントラルビルディング2階	TEL.(052)934-0761	FAX.(052)934-0762
大阪営業所	〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-5-15進徳第六ビル2階	TEL.(06)7659-2904	FAX.(06)7659-2906
広島営業所	〒733-0013 広島市西区横川新町8-22(ランドマーク横川)	TEL.(082)294-8971	FAX.(082)294-8994
松山営業所	〒791-1105 松山市北井門2-12-7(エシャンジュル松山103)	TEL.(089)969-1427	FAX.(089)969-1428
福岡営業所	〒812-0042 福岡市博多区豊1丁目10-50 MR博多ビル	TEL.(092)483-3751	FAX.(092)483-3753

製造販売 株式会社トプコン　ホームページ https://topconhealthcare.jp/ja/
本社・アイケア事業本部　〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1　TEL.(03)3558-2506

© 株式会社トプコン

202110_E329_rev2